

2025年度（令和7年度）事業報告書

障害者支援施設 久保更生園

1 施設を取り巻く現状と課題

（1）事業の種類及び利用定員

- | | |
|------------|-----|
| ① 生活介護事業 | 60名 |
| ② 施設入所支援事業 | 60名 |
| ③ 短期入所事業 | 2名 |

（2）県市町村等からの委託、補助事業等

- ① 由布市緊急時入所支援事業

（3）地域における公益的な取組

- ① 子ども工作教室
② 緒方町チューリップフェスタボランティア
③ 障がい者の学び支援事業「ゆふボきらきら教室」

（4）運営方針

令和7年度は利用者の重度化・高齢化が進む中、利用者に「より良いサービス」が提供出来るよう一層のチーム力の向上と職員自身のスキルアップ向上を目指取組んで参りました。利用者支援においては複数人での支援を必要とする状況が増え、チーム力向上に対する意識が高まってきたと感じています。職員自身のスキルアップについては研修参加を促し知識を高めるとともに、担当利用者の特性を考慮し外出等を計画することで障害特性や「より良いサービス」について一人ひとりが考え、行動するよい機会に繋がったと感じています。

関係機関への取り組みとしては地域連携推進会議を実施したことで行政・地域住民・保護者より一定の理解は得られたと実感しています。今後はさらなる連携強化を進め施設運営を行っていききたいと思います。

課題としては施設の老朽化が進む中、利用者の安心・安全の確保、職員の負担軽減や業務の効率化などが挙げられます。これらの課題については優先順位を決め出来る事から改善を図っている状況です。引き続き来年度も改善意識を持ち働きやすい環境作りを目指していききたいと思います。

併せて職員の育成についても指導方法を模索して一人ひとりに適した指導を行い、やりがいと誇りを持ち長く働くことが出来る施設の雰囲気作りを行っていききたいと思います。

2 施設の実施策と取組の方向性

(1) 職員が働きやすくやりがいを感じられる職場づくり

ア 福祉・介護業界のイメージアップを図り、多様な働き方を推進する。

実施施策	法人制度の周知及び人材確保 (達成度 80%)
現状と課題	法人の取り組みを周知することで、対象となる職員が活用し一定の成果が見られる。今後職員の確保を行っていき、より成果を求めていく必要がある。
取組の方向性	引き続き多様な働き方を推奨し、更なる法人制度の活用につなげていく。
取組の成果	法人の取り組みについて周知することが出来ており活用もされている。多様な働き方に対しても柔軟に対応することが出来ている。

イ OJT 制度を中核に職員一人ひとりを育成し、チームケアを推進する。

実施施策	組織体制の強化を図りチーム力を向上 (達成度 90%)
現状と課題	利用者の重度化高齢化が進む中、職員の身体的負担が増えているため、より一層のチーム力が求められる。
取組の方向性	OJT の活用や研修参加を通して、チームケアの大切さを学び、風通しの良い職場の雰囲気づくりを実施する。
取組の成果	日頃からチームでの支援を徹底することで職員の身体的負担が偏らないように取組んでいる。また、OJT 制度を活用し新任職員の育成も図れている。全体的にチームケアに対する意識は向上している。

ウ 職場風土を改善し、職員の定着率とモチベーションを高める。

実施施策	職場内の関係作りの構築 (達成度 80%)
現状と課題	誰もが提案しやすい環境になっているので、引き続き提案したことについて実施していき、達成感を感じモチベーションにつなげていく。課題としては、利用者の重度高齢化に伴い新たな活動が難しくなっていることが現状である。
取組の方向性	縦・横の繋がりの強化を図り、より柔軟な発想を尊重し、1人ひとりの職員が達成感を感じながら、充実した環境で働ける職場作りを行う。
取組の成果	今年度は全職員で過剰サービスをテーマに取り組み一人ひとりにあったサービスの提供を行う事で職員が達成感を感じモチベーションを高めていく取組が出来ている。また、活

	動内容に原則、制限を設けないため柔軟な発想で計画・実施することが出来ている。
--	--

エ 業務の生産性を高め、ワークライフバランスを推進する。

実施施策	効率的かつ効果的な業務改善 （達成度 70%）
現状と課題	利用者支援（業務時間）が終わってから各自の事務業務に入らざるを得ない現状があり、時間外業務を強いる事に繋がっている。特に記録業務に関しては障がい福祉サービスにおいて重要性が高く、利用者支援の充実にも繋がる観点から、優先して課題解決に取り組む必要がある。
取組の方向性	タブレット等の ICT・DX ツールを活用し、効率的な業務が行える環境づくりに向けた情報収集・計画を行う。
取組の成果	事務作業の効率化の一環として Google Drive を導入した。データの参照・編集がどの PC からでも素早く行え、従来のシステムの課題であったダウンロード待機時間も改善し、業務の効率化に役立っている。 記録業務に関して、今年度は具体的な計画段階までは辿り着かなかったが、AI の導入により文字起こしなど取れる手段が増えているため、現場の実情に合った形で導入が可能かどうか今後も検討を続けていく。

(2) 利用児者の生活を支えるサービスの質の向上

ア 先進的で魅力あるサービスを提供し、サービスの質を高める。

実施施策	専門的な知識や技術の向上 （達成度 70%）
現状と課題	利用者の重度高齢化が顕著になっており、支援者 1 人あたりにかかる負荷が大きくなっている。虐待防止及び権利擁護の観点では、継続した取り組みにより不適切ケア・言葉遣いに対する意識改革に一定の成果が見られるが、引き続き啓発活動を実施していく必要がある。
取組の方向性	① 高齢化に伴い全般的に介護が必要とする利用者が増えているので、対応のための研修実施。 ② 身体拘束等に関する内部研修を計画的に行い、意識改革を行っていく。
取組の成果	強度行動障害・摂食嚥下・口腔ケア等の研修に参加して高齢化が進む中、介護を必要とする利用者の安全な生活のため知識を高めた。また、園内での復命研修を行い周知に努めた。

	身体拘束については会議等で意思の統一を図り、安易な拘束は認められない事を日々確認している。
--	---

イ 安全安心で快適な暮らしを保証し、利用児者の満足度を高める。

実施施策	快適な生活に向けた居住空間の整備（達成度 90%）
現状と課題	障がい特性による不衛生な環境や、居室の4人部屋から生じるプライバシーの問題が見られる。施設全体の老朽化もあり、重度高齢化する利用者のニーズに対応しきれていない。
取組の方向性	課題となる生活環境を洗い出し、専門業者の意見も取り入れながら改善計画を立て、優先順位をつけて実施していく。
取組の成果	引き続き、トラブルの対応や個々の特性に応じて居室の入れ替えをその都度話し合い行っています。介護ベッドの導入を行う中で居室空間が狭く感じられる。その為に、居室に置ける介護ベッド使用に向けて、現在設置されている備え付けベッドを解体し、そのスペースに介護ベッドを配置する工事を業者へ依頼し、作業を進めている。これにより、居室空間を広く確保し、ご利用者様がより快適にゆっくりと過ごせる環境づくりを行っています。また、今後も優先すべき点を整理しながら、具体的な対策を検討していきます。

ウ 施設機能を積極的に開放し、地域とのつながりを強化する。

実施施策	地域交流・地域における公益的な取り組み（達成度 70%）
現状と課題	重度高齢化が進み交流が難しい状況になっているが、地域行事には積極的に参加している。今後の課題としては、参加利用者が限定的になっている。
取組の方向性	① アート活動を主軸に置き、作品展への展示や情報発信などで地域との交流を行う。 ② 引き続き公益的な取り組みを実施しつつ、子ども工作教室については地域からのニーズを改めて分析し、より適切な実施形態を模索する。
取組の成果	利用者もアート活動を楽しみにしており、作品展の会場へ足を運び、地域の方と自然に会話が生まれるなど、交流の広がりに繋がっている。 地域のニーズを把握しつつ小学校へ働きかけ、参加を促し、子どもの興味を事前調査したり、終了後に「作りたいもの」

	を聞き取ったりして内容を工夫している。さらに、家族の生活導線を考慮した時間帯を模索し、参加しやすい運営を進めている。
--	--

(3) 安定的で持続的な経営基盤の確立

ア 収入の安定確保と経費増大の抑制で、安定性の高い財務体質を維持する。

実施施策	利用率の向上と安定した収入の確保 (達成度 50%)
現状と課題	今後高齢化に伴い、利用率の低下が予想される。併せて支援の負担増により、人材確保も課題にあげられる。そのため、安定的な収益を確保するためには、負担軽減と利用率向上を合わせて考えて行く必要がある。
取組の方向性	① 職員側の負担を軽減するためにも、介護機器の導入を検討する。 ② 対応困難な利用者の依頼が増える事が予想されるため、相談事業所との連携を強化する。
取組の成果	利用率の向上に繋げるため定期的に経営についての話を職員間で共有している。また、相談事業所との連携を図り施設利用を希望している家庭の把握にも努めている。実際に数件の問い合わせがあったが、居室が1人部屋でないこと等が理由で契約には至っていない。また、粗暴行為等がある場合、現時点で利用されている利用者の安全確保も難しい状況である。

イ 中長期的な視点をもって、持続性の高い経営を行う。

実施施策	建物の老朽化への対応 (達成度 70%)
現状と課題	経年劣化により、建物の老朽化が進んでいる。また、利用者の特性上、修繕後にすぐに破損することもあり、素材等の工夫が求められる。
取組の方向性	予算等を十分に精査し優先順位を決め、計画的に修繕を行う。利用者の特性を踏まえ、業者と相談し、対応策を考え修繕を行う。
取組の成果	予算を十分に念頭に入れ業者との話し合いを行い、修繕に向けた計画を立て随時実施している。また、職員が修繕できる箇所については速やかに修繕を行っている。

ウ 組織内の連携を強化し、強固な組織体制と経営基盤を確立する。

実施施策	組織内連携の強化（達成度 80%）
現状と課題	会議決定事項等の情報共有について、試行錯誤を重ねながら改善に取り組んでいるところであるが、十分な改善には至っていない。
取組の方向性	① ICT を活用した効率的な情報共有の仕組みを検討、導入、定着を目指す。 ② タイムテーブルをはじめとした各種業務のマニュアルの見直しをすることで、チームとして統一された業務を行えるように環境を整える。
取組の成果	ラインワークスを活用して情報共有を行うことが出来ているが、全職員が活用出来るまでに至っていない。 タイムテーブルや各種業務マニュアルについては、必要に応じて検討、変更を行い対応している。

3 実績利用率

(%)

事業名	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均 /月
生活介護事業	60名	88%	87%	87%	86%	85%	86%	86%	86%	86%	84%	82%	86%	85.7%
施設入所支援	60名	87%	86%	86%	85%	84%	85%	87%	85%	80%	73%	78%	87%	83.6%
短期入所事業	2名	0%	0.1%	0%	0%	0.1%	0%	0%	0.1%	0%	0.1%	0%	0%	0.1%

4 固定資産物品購入物

(単位：千円)

名 称	購入業者	執行額	購入日
1 階南棟廊下エアコン(天理 4 方向)	(株)クリアテック	7 6 4	令和 7 年 4 月 11 日
浴室リフト入替（大浴槽）	(株)アンパサンド	6 0 9	令和 7 年 6 月 4 日
福祉車両軽自動車(車椅子対応)	(株)長宝自動車ボディ	3 4 6	令和 7 年 7 月 24 日
南棟静養室ソファ	(株)テクノプラス	9 9	令和 7 年 10 月 3 日
廊下のソファ	(株)テクノプラス	8 1	令和 8 年 3 月 17 日
介護機器ベッド	未実施		

5 修繕実施状況(大規模修繕を除く。)

(単位：千円)

名 称	請負業者	執行額	完了日
北棟 1 階居室のドア	(有)大分建窓店	1 5 3	令和 8 年 2 月 20 日
利用者用浴室シャワー取付	(株)JOAT	1 4 1	令和 7 年 5 月 7 日

女子棟居室内装工事	コーギーデザイン	475	令和8年2月22日
女子棟1F及び2F便器取り換え	(株)JOAT	480	令和8年3月31日
北棟1階利用者トイレ水漏れ修理	未実施		
床の張替え(各居室、廊下など)	未実施		
南棟1階筆筒部屋ドア	未実施		

6 大規模修繕実施状況

(単位：千円)

名 称	請負業者	執行額	完了日
なし			